

四稜郭 函館市陣川町 59

1868(明治元)年 10 月に五稜郭を占拠した旧幕府軍は、新政府軍の攻撃に備えて各地に防御陣地を築いたが、五稜郭の鎮守である北海道東照宮を守るため、五稜郭の北方約 3km の函館を一望できる緩斜面台地に洋式の台場「四稜郭」を急造したが建物は建造されず。



四稜郭石柱



土塁の跡



砲台を構えていた



土塁(障子堀のようになっている)



最後の侍、大鳥圭介

北海道東照宮 函館市神山 3 丁 18

1864(元治元)年五稜郭が完成した時、五稜郭の鬼門（北東）を守護するために建立されました。箱館戦争の折には周囲に砲座が築かれ、権現台場とも呼ばれた。社殿は箱館戦争の戦災によって焼失してしまい、現在は神山稲荷神社となっている。



神山稲荷神社